



神奈川県 自然公園指導員連絡会便り 第65号 令和5年5月発行

PKS 連絡会

神奈川県自然公園連絡会会報の刷新

第65号より連絡会会報紙面刷新されました。また事務分掌により、本紙と補修編に分けられました。

神奈川県自然公園指導員連絡会総会が開催されました

4月20日令和5年度総会が開催され、各議題が承認された。新役員も選任され、役員会で役職が決まりました。

会長挨拶

今般森本会長のご勇退によりまして、新会長に就任いたしました小松憲司と申します。連絡会の事務局ないしは巡視活動などでも皆様方のご支援を頂いて参りました。拙い実務運営にも数々ご迷惑をかけたことかと今更ながら恥じ入っております。

森本会長は長年にわたり、当連絡会の重鎮として幾多の表彰受賞の立役者として活躍して来られました。長年のご苦勞には深く感謝申し上げます。前会長と比べますれば甚だ力不足ではありますが、過去の業績を汚さぬよう努力したいと存じます。今後、ますます会員の高齢化も進み会運営も多難を極めることと存じます。IT関連技術の飛躍的な進歩も見込まれております。若い方達の意見も積極的に取り上げて、会運営にも新たな手法を取り入れていくことも必要かと痛感しております。

「明るく楽しい連絡会」運営を心掛けて参ります。皆様方の強力なご支援をお願いして、挨拶に代えます。どうぞよろしく願います。

神奈川県自然公園指導員連絡会会長 小松憲司

役員紹介 新会長以下6人の役員で皆様のために頑張ります。宜しく願います。



会長・事務局 小松憲司



森本 裕



太幡慶治



西野隆幸



堤洋子



加藤紀元

4月の巡視報告

2023年4月月例巡視「神奈川県最北の山生藤山」

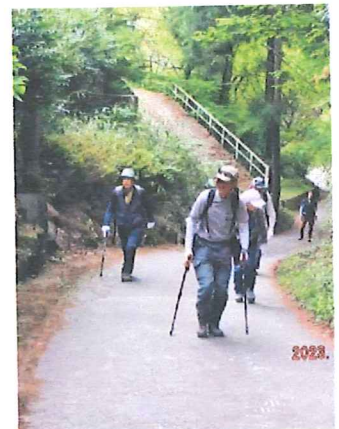
2023.4.22(土)曇り～晴れ

参加者 10名 No21 浦野 聡 No23 江頭 淑子 No41 加藤 紀元 No55 小松 憲司 No81 太幡 慶治 No89 南口 義之

No.147 黒井 由貴 No.174 西野 隆幸 No.193 吉田 昇 認定 藍澤 紀男

生藤山は、過去何回も当会の挑戦をはねつけてきた難敵でした。ある時は雨天予報、ある時は新型コロナ禍での中止とか。以前、当日の降雨確率60%「中止」のメール発信。念のため上野原駅まで行ってみるとお一方だけ来ています、聞けば中止メールを見ていない!? でもどんどん天気が回復、日差しさえ出て止む無く二人だけの山行となったこともありましたっけ。

ともあれ今回も当初の4/15は降雨確率80%、中止・延期の結果4/22になりました。天気予報は曇り、降雨確率も10~20%、まあ降られることはないでしょう。一旦は中止にもめげず、10人の強者が集まりました。 駅構内やバス停では早くも新鮮な夏ミカンのご提供。重たいミカン、ここまで持参するだけでも大変でしょう。ご馳走様です。新装なった上野原駅前から井戸行きのバスで出発。20分程度の乗車で井戸に到着。こちらのコースが空いているはずと思いきや、従来メインコースのはずの石盾尾神社前のバス停では1~2人くらい降りたにすぎず、殆どの方が井戸下車でした。バス停のトイレもバイオトイレで立派になっていました。道端でオリエンテーリング、自己紹介と軽く体操の後出発です。軍刀利神社本社までは舗装道路の急登です。大鳥居の真下では早くもニリンソウ、イチリンソウのお出迎え。舗装道路とはいいいながらなかなかの急登、辟易するころトイレに到着。今回はトイレもきれいに清掃してありました。手水舎の前ではめでたい名前のエンレイソウ(延齡草)とこれは貴重なレイヨウボタンが咲いていました。葉っぱがボタンに似ているだけで、花は黄緑色、形も小さく地味です。でも立派に絶滅危惧種、ありがたや、ありがたや。手水舎のところから急な石段組と道路経由の軟弱組(小生も)と別れて、軍刀利神社本社に到着、なかなか立派な社殿です。社殿にお参り、辞して荒れ気味の未舗装車道に入りました。車道も 奥の院でストップ。奥の院には見上げるように巨大なご神木の桂の木がそびえています。桂の木は水が大好き、そのとおり根元近くには清流がありました。



エンレイソウ(延齡草)



これは珍しいレイヨウボタン(類葉牡丹)



奥の院の大桂

ここからいよいよ山道に入ります。つづら折りのなかなかの急登でした。以前は藪が茂り、シモバシラの白い花をかき分けなが

ら登ったのに様変わり、杉の重厚な林になっていました。そんなに昔だったつけかなあ?間もなく尾根道の手前から元宮へのトラバースコースに入ります。以前と比べ、路肩が危なっかしく注意しながら進みました。このコースは珍しい植物が見られる穴場コースなんです。ありました、先ほど発見のレイヨウボタンが3株ほどもありました。元宮分岐に到着、ここからは笹尾根縦走路。三国山に直行と思ったら、元宮にも行きたいとのご要望。熱意に負けて元宮にもお参り、社寺って大概高いところにあるものですよ。ひーこら言いながら登り降り。元宮分岐に戻って、いよいよ三国山の登りへ。三国山到着、幸い人波の過ぎた後らしく先客はお一方のみ。ここで楽しいお昼食。でも、まだまだこれからは登りが残っています。昼食後は、一旦降ってから生藤山の急登です。背中が軽くなりましたが、お腹が重たい。岩角につかまりながら登りました。生藤山の山頂は狭くて数人で満タンです、ここは集合写真を撮影して直ぐに降ります。降りだってなかなか大変、しかも無名のピークもあり、険しい登降です。



緑渡る登山道



生藤山山頂にて

最高峰の茅丸はパス、コルから神奈川県最北の登山道に入って三国山方面に戻ります。打って変わって緩やかなトラバース道。難なく三国山下分岐に到着。甘草水までは歩き易い道が続きます。甘草水も探検、今はわずかな水さえも出ていませんでした。甘草の話もひとくさり。甘草水の野外卓も老朽化、釘が浮いていました、即修理。オオシマザクラらしき花が見えました。ここからのうす暗い林中ではミミガタテンナンショウ(耳型天南星)がまだ咲き残っています。マムシグサもちらほら。(登里)軍刀利神社までの山桜ももう見上げるほどの古木になっています、かつては華やかな登山道でした。軍刀利神社里宮では富士山をバックに桜の花を見たかったんですが、残念。すぐに里に出ると急な車道の降りが始まります。



岩道の急登!!



鎌沢休憩舎の大?清掃



鎌沢休憩舎への入り口を見過ごして少しバック。ここは道標が欲しいとの声、でもここは民有地なのかなぁ？ ここでは甘い信玄餅のお振る舞い。その後は大清掃!?!大わらわで掃除にかかりました。裏の木の枝に用具も発見、文字通りの大掃除になりました。枯れ枝を剪定する人、トイレ掃除に専念する人、草刈りも。一旦、スイッチが入っちゃったもんですから今度は終わりと言ってもなかなかやめて貰えませんでした。

それでも皆さん満足顔で和田バス停に向かいました。皆さん、速い!!速い!!聞いたら和田バス停で地ビールが飲めるとか、道理で。ところが大変残念、コロナ休業、ガラス窓の向こうには空しくビール瓶が見えました。でも執念で?缶ビールを探してきた人も。ザックをネットで覆った変わった荷の方を発見、ネットは手作りだそう。感心頻り。ここからバスで藤野駅に向かい、無事解散しました。

お疲れさまでした。

巡視リーダー小松憲司 記

5月月例巡視

「シロヤシオ咲く檜洞丸」

2023年(令和5年)5月20日(日) 予備日5月27日(日)

小田急線新松田駅7時30分集合 7時45分発西丹沢行(富士湘南バス)乗車⇒西丹沢バス停下車→ツツジ新道→檜洞丸→石棚山→簗沢公園橋バス停

詳細は別紙「シロヤシオ咲く檜洞丸」参照。

クリーンピア21 清掃活動状況 2023年3月1日～2023年4月30日実績

延べ参加人数: 19 人 ゴミ回収量: 可燃物4.5kg 不燃物4.7kg 合計9.2kg

※大山丹沢地域の登山道など清掃を実施した場合には事務局にご報告ください。(別紙様式あり)

会員状況

入会 認定会員 藍澤紀男 退会 無し 2023.4.1 現在 総数59名(正会員50名 認定会員9名)

会報第65号

連絡会事務局 小松 renrakukai.koma.kvnp53@gmail.com

2023年5月1日発行

編集担当 森本 y-morimoto@sepiaplala.or.jp